



スキン-テア クイックガイド

1. スキン-テアとは

摩擦・ずれによって、皮膚が裂けて生じる真皮深層までの損傷(部分層損傷)です。

2. スキン-テアの観察方法

下記のSTAR分類を用いてアセスメントします。



カテゴリー 1a

創縁を(過度に伸展させることなく)正常な解剖学的位置に戻すことができ、皮膚または皮弁の色が蒼白でない、薄黒くない、または黒ずんでいないスキンテア。



カテゴリー 1b

創縁を(過度に伸展させることなく)正常な解剖学的位置に戻すことができ、皮膚または皮弁の色が蒼白、薄黒い、または黒ずんでいるスキンテア。



カテゴリー 2a

創縁を正常な解剖学的位置に戻すことができず、皮膚または皮弁の色が蒼白でない、薄黒くない、または黒ずんでいないスキンテア。



カテゴリー 2b

創縁を正常な解剖学的位置に戻すことができず、皮膚または皮弁の色が蒼白、薄黒い、または黒ずんでいるスキンテア。



カテゴリー 3

皮弁が完全に欠損しているスキンテア。

ポイント

カテゴリーの数字と文字には、以下の意味があります。

- 1: 皮弁で創面が覆える
- 2: 皮弁で創面が覆えない
- 3: 皮弁がない
- a: 皮膚と皮弁の色調は周囲と比べ差がない
- b: 皮膚と皮弁の色調は周囲と比べ差がある

3. スキン-テアのリスクアセスメント方法

- ・「スキン-テアの保有」や「スキン-テアの既往」がある。
- ・「個体要因」と「外力発生要因」のそれぞれの項目に該当する要因がある。

これらのいずれかでも該当する場合には、発生と再発のリスクがあると判断し、予防ケアを開始します。

1) スキン-テアの既往の確認方法

患者、家族に、まず確認をします。確認が困難な場合には、スキン-テアが治癒すると、白い線状や星状の瘢痕を認めるため、その有無で判断できます。



白い「線状」の瘢痕



白い「星状」の瘢痕

2) 「個体要因」と「外力発生要因」

個体要因のリスクアセスメント

全身状態	皮膚状態
<input type="checkbox"/> 加齢 (75歳以上) <input type="checkbox"/> 治療 (長期ステロイド薬使用、抗凝固薬使用) <input type="checkbox"/> 低活動性 <input type="checkbox"/> 過度な日光曝露歴 (屋外作業・レジャー歴) <input type="checkbox"/> 抗がん剤・分子標的治療歴 <input type="checkbox"/> 放射線治療歴 <input type="checkbox"/> 透析治療歴 <input type="checkbox"/> 低栄養状態 (脱水含む) <input type="checkbox"/> 認知機能低下	<input type="checkbox"/> 乾燥・鱗屑 <input type="checkbox"/> 紫斑 <input type="checkbox"/> 浮腫 <input type="checkbox"/> 水疱 <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー様 (皮膚が白くカサカサして薄い状態)

1つでも該当すれば、次の「外力発生要因のリスクアセスメント」に進む

外力発生要因のリスクアセスメント

患者行動: 患者本人の行動によって摩擦・ずれが生じる場合	管理状況: ケアによって摩擦・ずれが生じる場合
<input type="checkbox"/> 痙攣・不随意運動 <input type="checkbox"/> 不穏行動 <input type="checkbox"/> 物にぶつかる (ベッド柵、車椅子など)	<input type="checkbox"/> 体位変換・移動介助 (車椅子、ストレッチャーなど) <input type="checkbox"/> 入浴・清拭等の清潔ケアの介助 <input type="checkbox"/> 更衣の介助 <input type="checkbox"/> 医療用テープの貼付 <input type="checkbox"/> 器具 (抑制具、医療用リストバンドなど) の使用 <input type="checkbox"/> リハビリテーションの実施

外力発生要因の該当項目数が1個以上該当するか

- はい: **スキン-テアの発生と再発の予防ケア実施要**
 いいえ

4. スキン-テアの予防ケア

- ・栄養管理: 低栄養、脱水の評価、必要時介入
- ・外力保護ケア: 安全な環境の整え、安全なケア技術、安全な医療用品などの使用

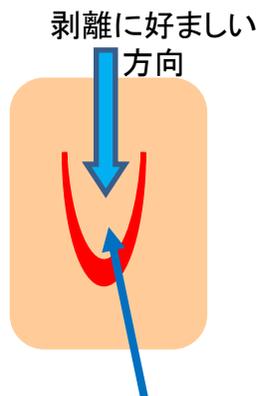
- ・スキンケア: 皮膚の保湿、皮膚の洗浄方法、寝衣の選択
- ・医療・介護メンバー教育
- ・患者・家族教育

5. 発生後のケア

1. 止血する。
2. 洗浄する。
3. 皮弁を元の位置に戻す。
4. 皮弁がずれず、創周囲に固着しないような創傷被覆材を選択する。
5. 創傷部の疼痛を確認する。

<創傷被覆材の交換>

- ・剥離剤を使用し、ゆっくり剥離する。
- ・創傷被覆材に皮弁固定を妨げない方向を記入しておく。



詳細は、『ベストプラクティス スキン-テア (皮膚裂傷) の予防と管理』をご覧ください。学会ホームページより、ダウンロードができます。

